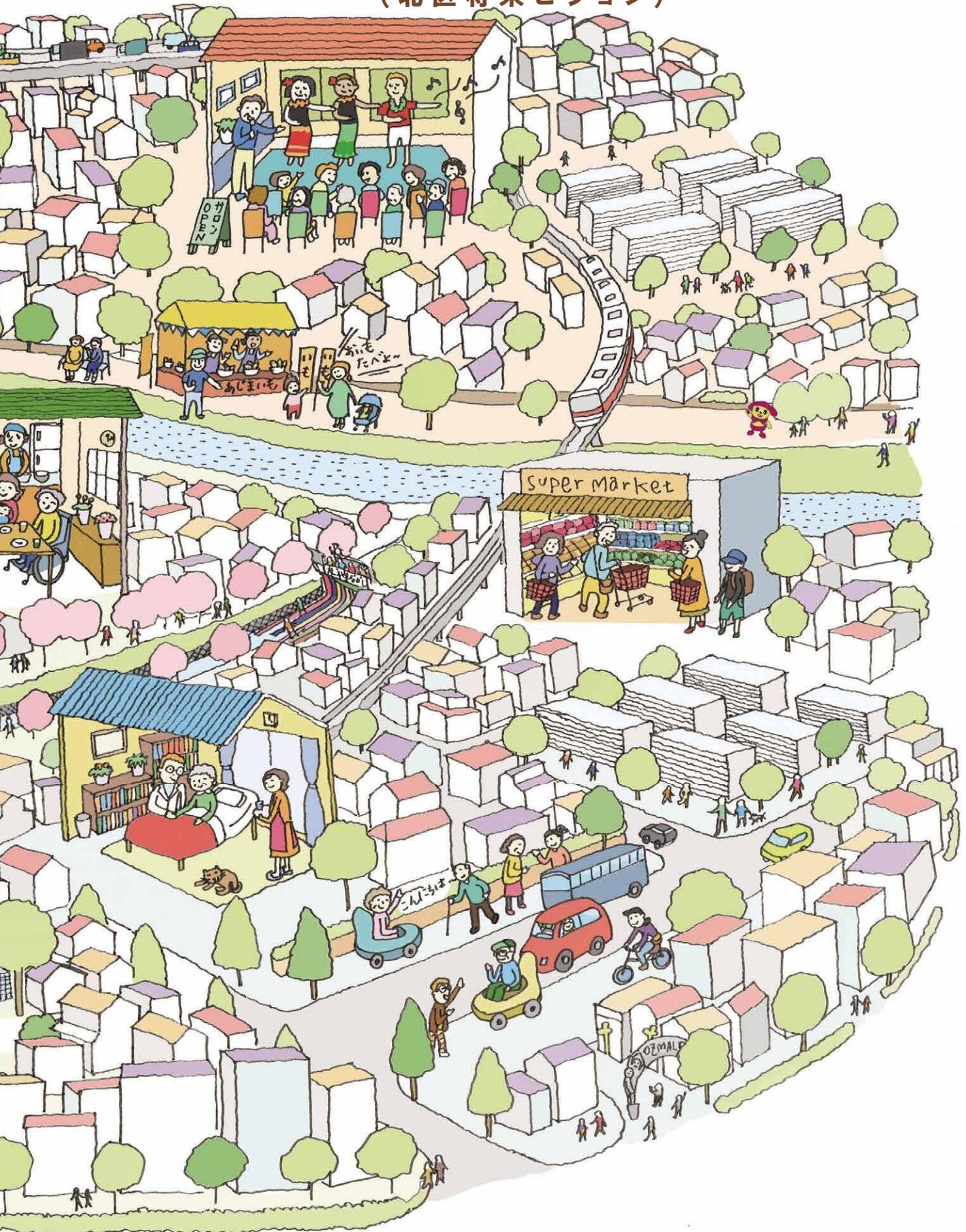


令和2~5(2020~2023)年度

コスモスビジョン

(北区将来ビジョン)



はじめに

このたび、北区では、皆さまからのご意見や地域の特性・課題を踏まえ、めざすべき区の実現にむけ、令和2年度から5年度までの取り組みを体系化した「コスモスビジョン」を策定しました。

この計画では、「笑顔」をキーワードに、「魅力」「福祉・健康」「安心・安全・快適」の視点から、3つのめざすべき将来像やその実現にむけた区の施策の方向性をお示ししています。

計画期間の最終年度である令和5年度は、北区制80周年をむかえる年となります。

このような記念すべき年が、「笑顔が満開!のまち」となるよう、さまざまな取り組みを区民の皆さまとともにすすめてまいりますので、ご協力をお願いいたします。

目次

第1章 北区の特性と課題

1	北区の地勢	1
2	人口と世帯数の変化	2
3	待機児童数や保育ニーズ	2
4	高齢化への対応	3
5	障害者への理解	3
6	健康への意識	4
7	災害への意識	4
8	交通安全・生活安全	5
9	生活環境	5
10	区民の思う北区のイメージ	6

第2章 北区の将来ビジョン

1	計画の策定にあたって	7
2	キャッチフレーズ「笑顔が満開!のまち」	7
3	北区将来ビジョン	8
	Ⅰ 魅力と誇りに満ち、笑顔いっぱい未来に！	
	～Let's smile～	11
	Ⅱ 誰もがいきいきと健康で、いつも笑顔で暮らせるまちに！	
	～Keep on smiling～	17
	Ⅲ 安心・安全・快適で、笑顔がいっぱいのまちに！	
	～Protect your smile～	27
	信頼される区役所づくり	34

第3章 笑顔が満開!のまちになるために

1	地域との連携	36
2	官公署等との連携	37
3	北区社会福祉協議会の取り組み	37

第1章 北区の特性と課題

1 北区の地勢



- 北区は昭和19(1944)年に、東区と西区の各一部をあわせて誕生し、昭和30(1955)年に西春日井郡楠村を北区に編入し、現在の区域が形づくられました。
- 中央部には、庄内川・矢田川が東西に流れ、サイクリングロードや矢田川河川噴水などが整備され、区民に親しまれています。
- 黒川にはかつて染色工場があり、友禅染めの糊を落とす美しい光景がみられました。その様子を再現した「黒川友禅流し」が行われ、多くの人々が訪れています。
- 名城公園、志賀公園、楠公園などの公園や御用水跡街園、庄内用水緑道といった散策路も整備され、水と緑が豊かな憩いの場として活用されています。
- 国道41号・19号などの幹線道路、JR中央線、名鉄瀬戸線、地下鉄名城線などの鉄道、バス路線網が一体となって利便性の高い交通網を形成し、交通結節点である大曾根駅・黒川駅などは利用者でにぎわい、商業・サービス業が盛んです。
- 区の南北を名古屋高速道路1号楠線、東西を名古屋第二環状自動車道が横断し、北には県営名古屋空港があり、国内移動の利便性も高い地域といえます。



楠公園



矢田川河川噴水



名城公園からの名古屋城

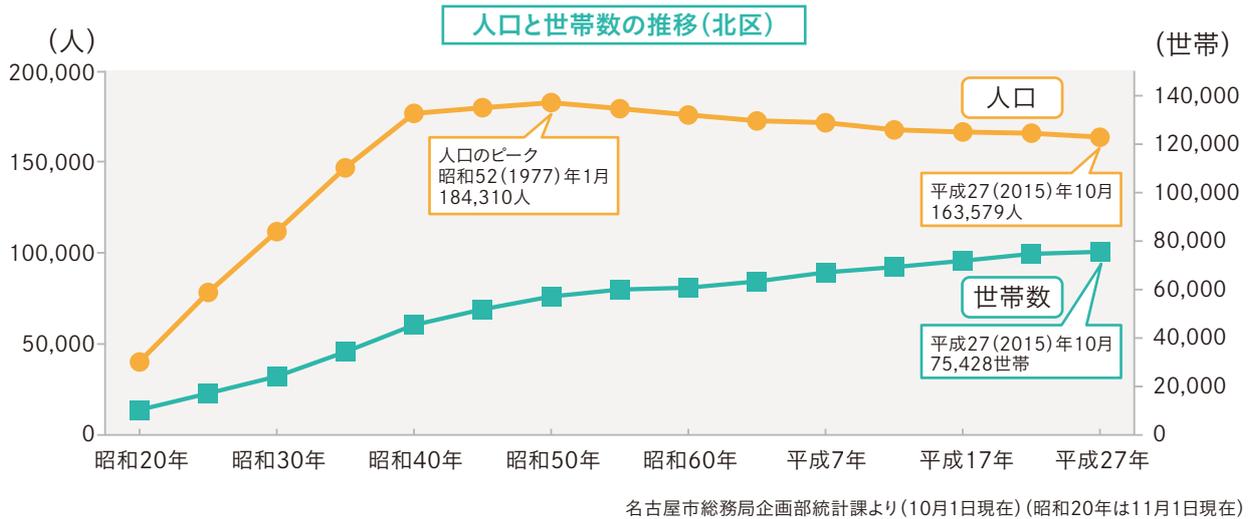


黒川友禅流し

2 人口と世帯数の変化



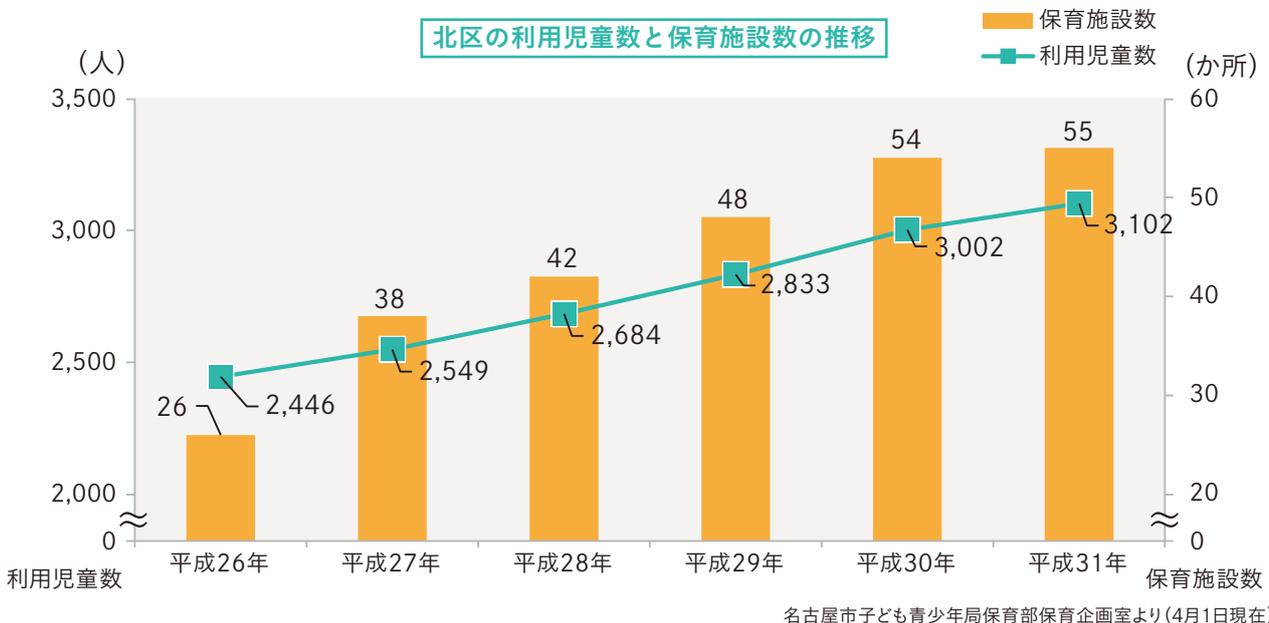
- 北区の人口は、昭和52(1977)年1月をピークに緩やかに減少を続け、近年は約16万4千人で横ばいになっています。
- 今後は、高齢化が一段と進行することで、死亡数の増加が予測され、将来的には人口が減少していくと推計しています。
- 世帯数については、核家族の増加や単身世帯の増加、価値観やライフスタイルの多様化により、増加傾向は今後も続くと考えられます。また、今後は、高齢化の進行により、さらに高齢者単身世帯が増加していくと推計しています。



3 待機児童数や保育ニーズ



- 平成31(2019)年4月1日現在の保育所等利用待機児童数は、平成26(2014)年度以降の保育施設の整備などの対策により、6年連続でゼロを維持しています。
- しかし、利用児童者数もこの6年間で増加、平成31(2019)年4月1日現在の利用児童数は3,102名となっています。
- 今後も両親の就労や家族の介護などから、保育ニーズが高まることが予想されるため、引き続き多様な保育サービスが必要とされています。

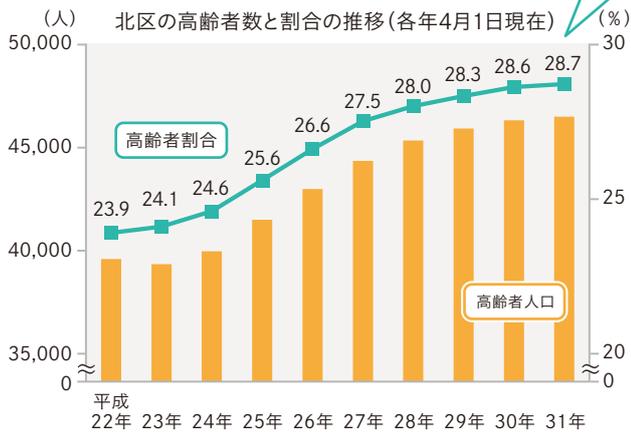


4 高齢化への対応



- 北区は高齢化率が16区中2番目に高く、さらに高齢化の進行に伴い、支援を必要とする高齢者も増加することが見込まれます。
- また、他区に比べ、ひとり暮らし高齢者*や高齢者のみ世帯*が多い特徴があります。
*ひとり暮らし高齢者…満65歳以上で当該高齢者一人で生活を営んでおり、同一敷地内又は隣家に親族がいない高齢者（名古屋市高齢者世帯実態把握調査実施要領）
*高齢者のみ世帯…満75歳以上の高齢者二人以上が同居して生活を営んでおり、同一敷地内又は隣家に親族がいない高齢者（同上）
- 高齢者数などの推移は今後も同じ傾向が続くと予想され、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるための体制づくりをすすめることが喫緊の課題となっています。

高齢者に関する指標



他区との比較

順位	高齢者数		ひとり暮らし高齢者		高齢者のみ世帯	
	区名	(人)	区名	(人)	区名	(世帯)
1	緑	55,885	北	9,938	緑	2,842
2	中川	54,004	中川	9,532	中川	2,523
3	北	46,473	千種	8,164	北	2,378
4	守山	43,195	中村	7,814	千種	2,112
5	南	40,121	南	7,476	守山	2,028

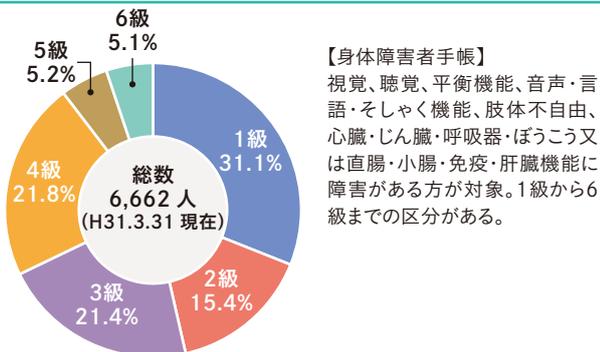
名古屋市健康福祉局(65歳以上高齢関係基礎データ)より(平成31年4月1日現在)

5 障害者への理解

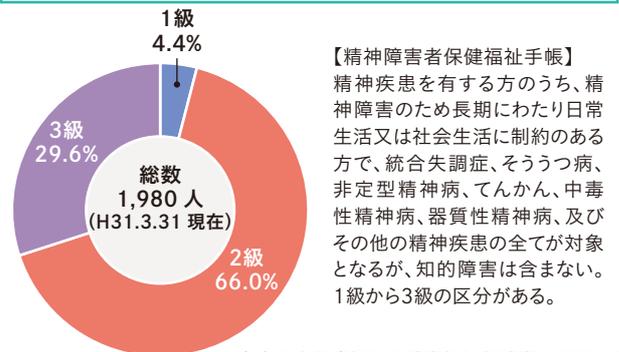


- 障害福祉サービスを利用して地域で生活している障害者は増加しています。
- 今後も、障害のある方が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、障害を理由とする差別の解消をすすめるとともに、多様なニーズへの相談に対応できるよう、さまざまな関係機関との連携を図り、適切な支援につなげることが必要です。

身体障害者手帳所持者(北区)

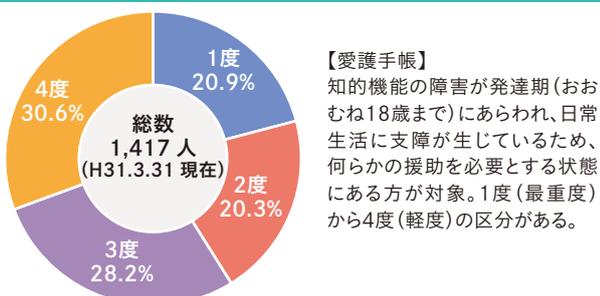


精神障害者保健福祉手帳所持者(北区)



名古屋市健康福祉局障害福祉部障害企画課より

愛護手帳所持者(北区)



障害者福祉サービス支給決定状況 (単位:人)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
身体障害者	450	477	491	508	534
精神障害者	333	388	449	495	530
知的障害者	466	479	503	509	527

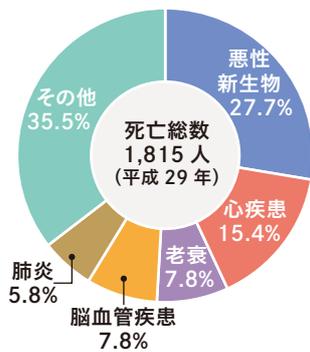
名古屋市健康福祉局障害福祉部障害支援課より

6 健康への意識



- 平成29(2017)年における名古屋市民の平均寿命は、男性80.83年、女性86.96年、健康寿命※は男性79.39年、女性83.70年となっています。
※健康寿命…この計画においては介護保険の情報に基づく「日常生活動作が自立している期間」をさす。
- 生涯にわたり健康で心豊かな生活を送るために、生活習慣の改善やワクチンの接種など、一人ひとりの予防の取り組みを促すことが必要とされています。

主な死因別死亡数割合(北区)



がん検診の受診者数(北区)

	受診者数	要精検	検診結果「がん」
胃がん検診	5,335	480	21
大腸がん検診	10,698	1,415	40
肺がん検診	10,966	602	12
子宮がん検診	6,387	249	3
乳がん検診	3,501	277	15
前立腺がん検診	4,151	316	22

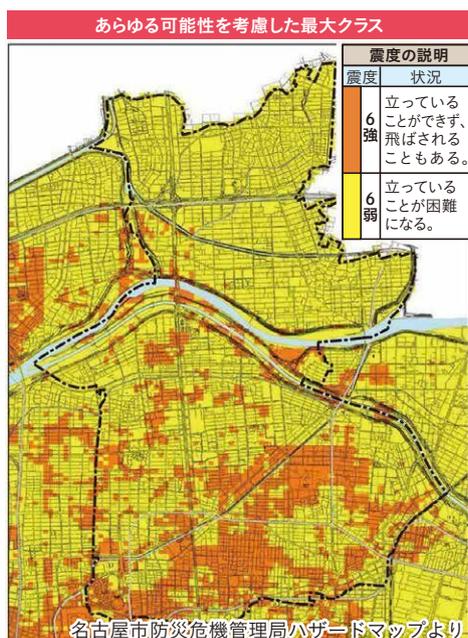
平成29年(2017)年度 名古屋市健康福祉局健康福祉年報より

7 災害への意識



- 南海トラフ巨大地震の発生確率は、今後30年以内に70~80%と予想されており、北区内においても、震度6弱~6強の震度による被害が想定されています。
- 河川の多い北区では、東海豪雨や平成20(2008)年8月末豪雨をはじめとする風水害による被害を受けてきました。
- これらの災害に備えて自分で自分や家族を守るという「自助」の力、市民や事業者が助け合って地域を守るという「共助」の力の双方を高める必要があります。

地震の被害想定(北区)



震度	死者	建物全壊	火災焼失
6弱~6強	約100名	約1,570棟	約1,800棟

名古屋市の防災危機管理ハザードマップより

北区の風水害の歴史

年代	風水害	北区の主な被害
1757(宝暦7)	庄内川/八田川	味鏡破堤
1779(安永8)	庄内川	味鏡破堤
1782(天明2)	庄内川	年4回の水害
1830(天保元)	庄内川	辻村破堤
1855(安政2)	庄内川/矢田川	前年地震で堤防未修理の所あり味鏡破堤等被害大
1868(明治元)	矢田川	味鏡・成願寺等破堤
1896(明治29)	庄内川/矢田川	福德・味鏡破堤
1911(明治44)	庄内川/矢田川	福德破堤
1959(昭和34)	伊勢湾台風	負傷者275、全壊101
1971(昭和46)	台風23号	床上41、床下856
1976(昭和51)	台風17号	床上349、床下6,172
1982(昭和57)	集中豪雨	床上92、床下2,846
1991(平成3)	台風18号	床上484、床下1,745
2000(平成12)	東海豪雨	負傷者2、床上2,221、床下1,172
2008(平成20)	8月末豪雨	床上109、床下1,290
2011(平成23)	台風15号	負傷者1、床下75
2013(平成25)	集中豪雨	床上27、床下598

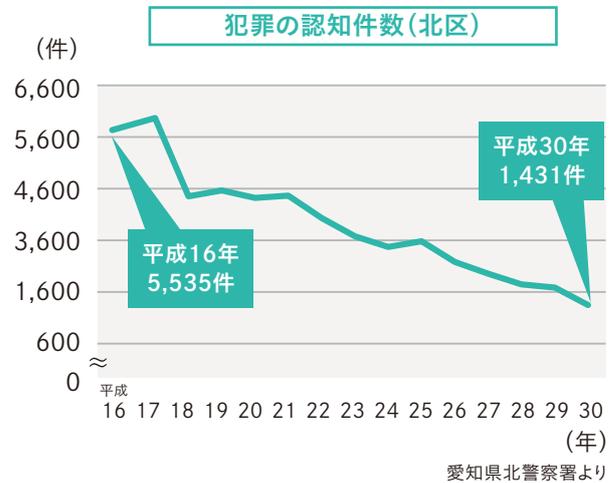
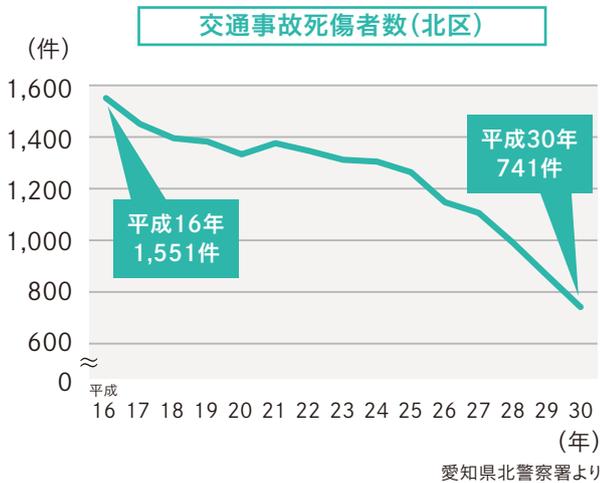
北区誌、庄内川水害誌より

8 交通安全・生活安全



- 北区内における交通事故死傷者数、刑法犯認知件数*はともに減少傾向にあります。これから行動範囲の広がる子どもや増加が見込まれる高齢者への交通安全施策や、誰もが被害にあわないための生活安全施策をすすめる必要があります。

*認知件数…発生地のいかんを問わず、警察で事件を認知した件数をいう。(愛知県警察本部犯罪統計月報)

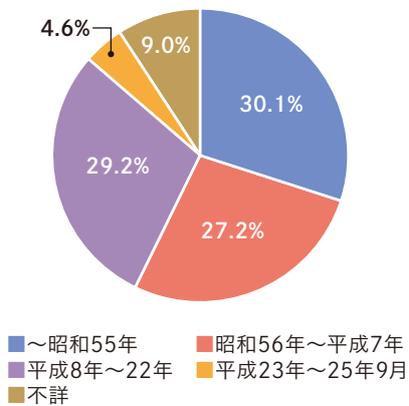


9 生活環境



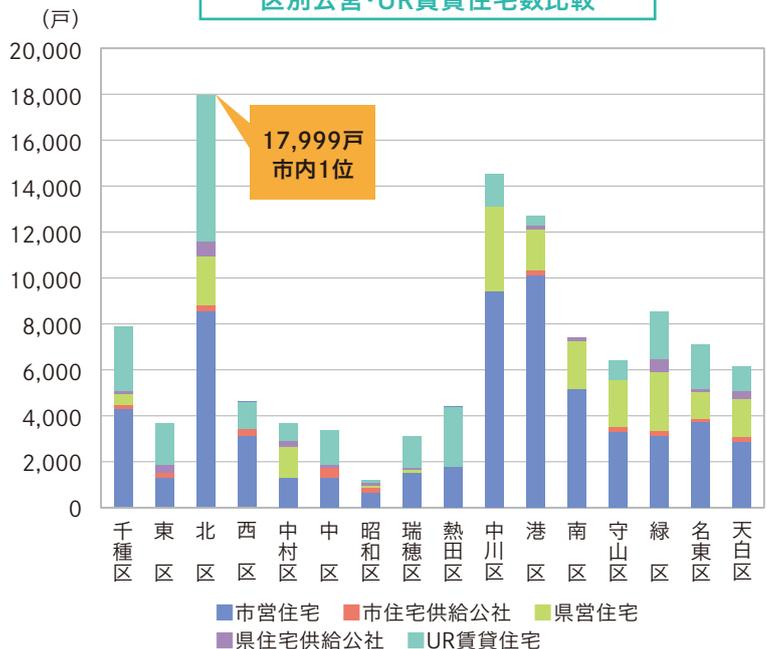
- 高度成長期に人口が増加、街が発展した北区は、昭和55(1980)年以前に建てられた住宅が多く残っています。また、昭和30(1955)年以降に楠地区で市営住宅が建設され、昭和31(1956)年には市内最大の公団住宅(現在の都市再生機構賃貸住宅。以下「UR賃貸住宅」という。)、志賀・鳩岡団地が誕生しました。昭和40年代に入り、工場移転跡地に市営・県営・公団の住宅が次々と建設され、現在、北区の公営・UR賃貸住宅数は16区中最多となっています。
- 今後、これらの住宅の老朽化や社会ニーズの変化、少子化・高齢化の進行に伴い、空き家が増え、防災・防犯・衛生・景観など様々な面で地域住民の生活環境に影響を及ぼす恐れがあります。

建築の時期別住宅数割合(北区)



(参考)
 昭和56年6月 建築基準法施行令改正(新耐震基準)
 平成7年1月 阪神・淡路大震災
 平成23年3月 東日本大震災

区別公営・UR賃貸住宅数比較



名古屋市長務局企画部統計課
 平成25年 住宅土地統計調査結果(名古屋の住宅・土地)より

名古屋市長務局統計年鑑(平成29年度末)より

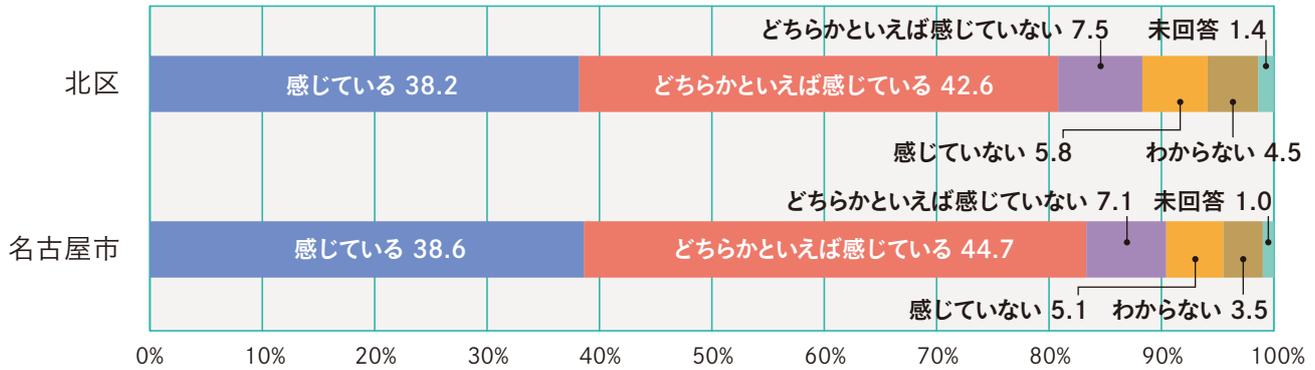
10 区民の思う北区のイメージ



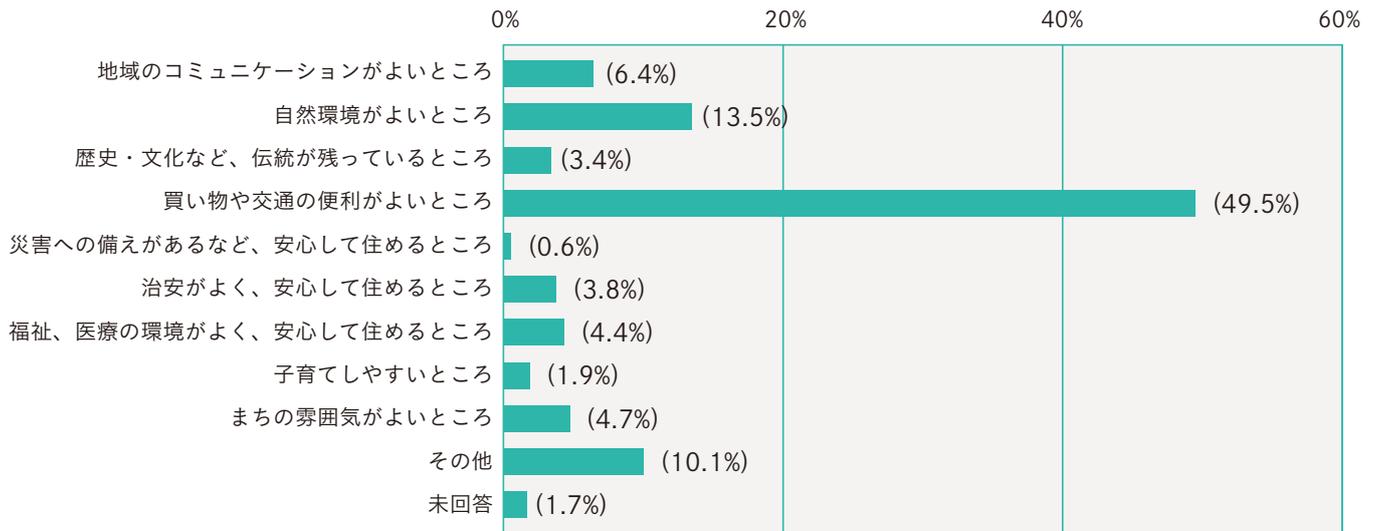
毎年区民2,000人を対象に北区区民アンケートを実施しています。その中で、区民の皆さまの思う北区のイメージや現状、課題を伺いました。

アンケートの実施状況 (令和元(2019)年6月~7月)	配布数	回収数	回収率
	2,000人	652人	32.6%

●[自分のまち]として「愛着」を感じていますか？



●北区に愛着を感じるのはどんなところですか？



●魅力や文化について自信を持って紹介できるものがありますか？



■北区は、交通の便利がよく、自然環境がよく住みやすいまちと感じている区民が多いです。
 ■魅力や文化について、自信をもって紹介できるものがあると感じている人は名古屋市全体に比べ少ないです。

(名古屋市のデータは令和元年度市政世論調査の結果です。)

第2章 北区の将来ビジョン

1 計画の策定にあたって

●人権を尊重した計画の推進

本計画では、特定の人を偏見や差別によって地域社会から排除することのないよう、区民一人ひとりの人権が尊重され、お互いに支えあい助けあえる地域づくりをめざして取り組みます。

●SDGs(Sustainable Development Goalsの略)の理念を踏まえた計画の推進

本計画では、平成27(2015)年9月の国連サミットで採択された持続可能な開発目標の理念を踏まえて、「誰一人取り残さない」社会の実現をめざして取り組みます。

2 キャッチフレーズ「笑顔が満開!のまち」

北区将来ビジョンの策定の際に、キャッチフレーズを決める投票を行い、「**笑顔が満開!のまち**」としました。

「笑顔が満開!のまち」は子どもから高齢者まで、北区に住むみんなが笑顔ですっと暮らし続けられるまちや黒川の桜が満開な様子をイメージしています。

北区では、区が「笑顔が満開!のまち」になるために、区民アンケートなどを通じて区民の皆さまからご意見をいただきました。

●あなたが笑顔で過ごすために必要だと思うことは?



●北区一日子ども区長からの提案

北区では、子どもたちが、区役所の業務を体験し、区の魅力や特性を学び、自分の住んでいる地域の将来を考える「北区一日子ども区長」を令和元(2019)年7月31日に実施しました。当日は、北区全19小学校から集まった小学生が子ども区長に就任し、『北区を「笑顔が満開!のまち」にするためには?』をテーマにみんなで話し合い、北区長の前で意見を発表しました。



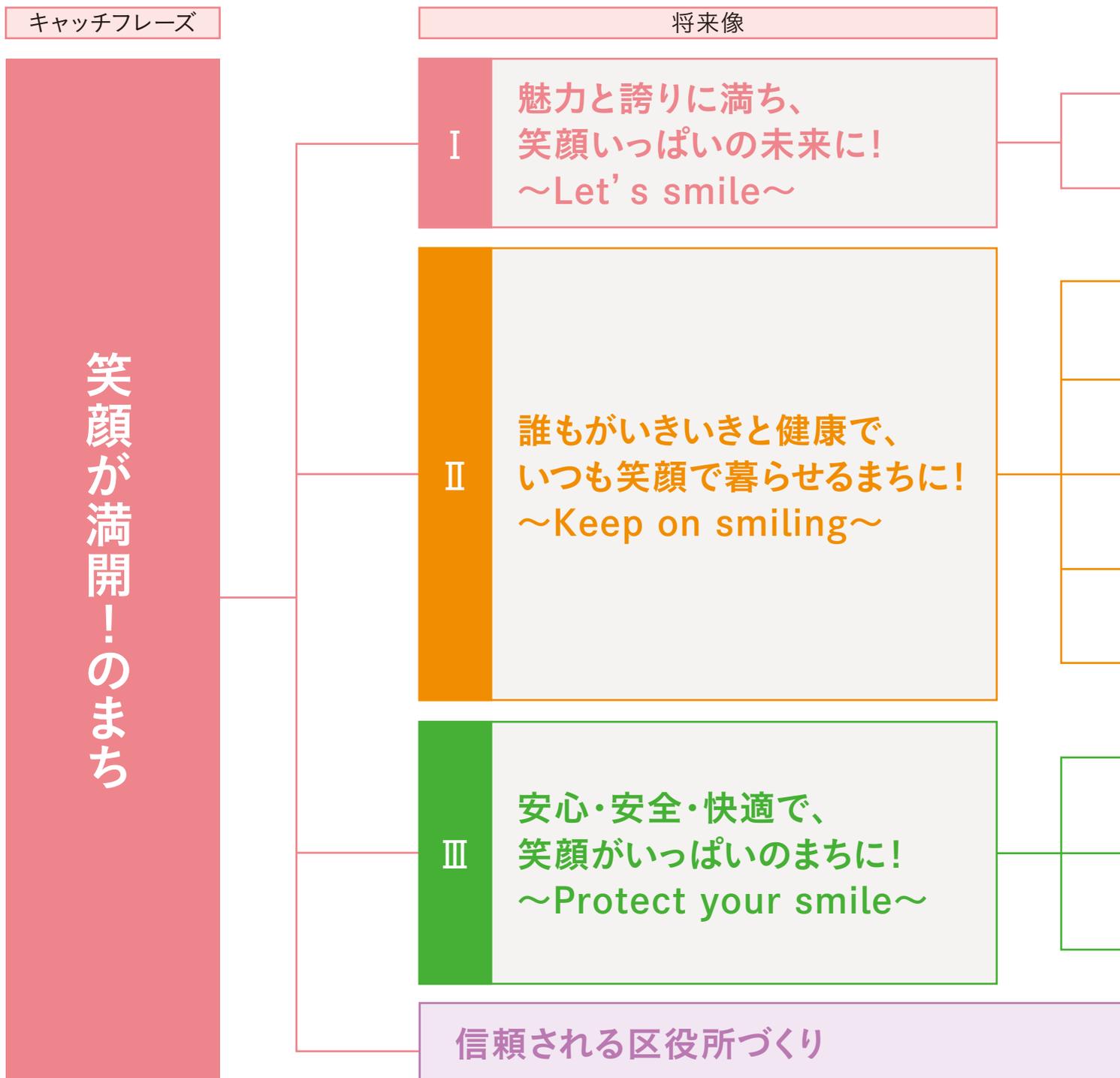
■北区一日子ども区長からの意見 ~「笑顔が満開!のまち」ってどんなまち?~

- 安心して遊べる公園の多いまち
- コスモスがいっぱいのきれいなまち
- 交通事故のないまち
- いろんな世代が楽しめる施設やイベントのあるまち

3 北区将来ビジョン

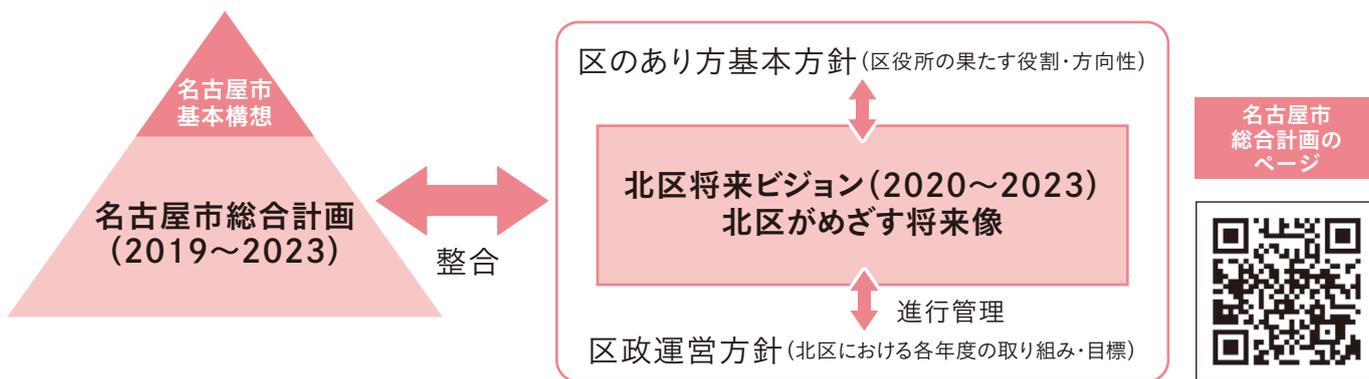


- 区将来ビジョンとは、区を取り巻く社会状況の変化を踏まえ、めざすべき区の姿(将来像)を明らかにし実現に向けた中長期的取り組みを体系化したものです。
- キャッチフレーズとした「笑顔が満開!のまち」を実現するために、北区がめざす3つの将来像を掲げました。
- 将来像に掲げた令和2～5(2020～2023)年度までの施策や事業の目的、方向性を区民の皆さまと共有し、すすめてまいります。
- 各年度の具体的な取り組みについては、このビジョンの方向性に基づき、毎年度策定する区政運営方針に反映します。

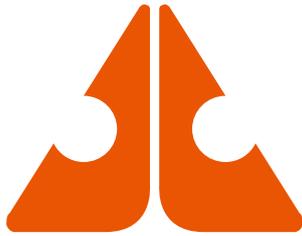


名古屋市総合計画との関係

名古屋市の令和元～5(2019～2023)年度の施策と事業を掲載しています。



施策	事業
愛着と誇りを育むまちづくり	黒川などの水辺空間の魅力発信 北区の歴史・文化の魅力発信 キタッコプライドづくり
「発信」したくなるまちづくり	戦略的な情報発信 サポーターづくり 生涯学習の推進
安心して子どもを産み育てられるまちづくり	地域ぐるみの子育て支援 子育て環境の整備
子ども・若者がのびのびと育ち学べるまちづくり	子ども・若者がのびのびと育つ環境づくり
高齢者が自分らしく生活できるまちづくり	北区まるっとすまいる大作戦
障害のある方が安心して生活できるまちづくり	障害のある方への理解の啓発 障害のある方の就労支援 障害福祉施策の推進
区民が健康でいきいきと暮らすまちづくり	家庭や地域で取り組む健康づくり
地域防災力の高いまちづくり	災害に備えた訓練の実施 防災知識の啓発や地域防災力の向上支援
安心・安全に暮らせるまちづくり	交通安全の推進 生活安全の推進
快適に暮らせるまちづくり	町を美しくする運動 犬猫の飼い方マナーの向上
	区民ニーズの把握・区政への反映 誰もが利用しやすい区役所づくり



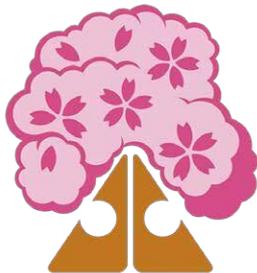
区のマーク

市制100周年を機に応募作461点から選定。
区名「北」の漢字をデザイン化し、区民の和と協調を表すとともに、雄飛発展する北区の輝く未来を力強く象徴している。(昭和63(1988)年2月制定)



区の花：コスモス

市制100周年北区記念事業として「区の花」を募集し、コスモスと制定。(昭和63(1988)年6月)
平成23(2011)年に公募でデザインを募集、デザインマークを決定した。



区の木：さくら

市制100周年北区記念事業として「区の木」を募集し、さくらと制定。(昭和63(1988)年6月)
平成23(2011)年に公募でデザインを募集、デザインマークを決定した。

区の歴史など

昭和19(1944)年	2月11日	北区誕生(東区の一部と西区の一部により)
昭和21(1946)年	4月15日	東区より六郷学区を編入
昭和26(1951)年	1月12日	中区より名城町を編入
昭和30(1955)年	10月 1日	西春日井郡楠村を編入、楠支所を設置
昭和34(1959)年	9月26日	伊勢湾台風
昭和46(1971)年	12月20日	市役所一大曽根間地下鉄開通
昭和50(1975)年	3月10日	楠支所を新築移転
昭和57(1982)年	11月 1日	北区総合庁舎を新築
平成12(2000)年	9月11日	東海豪雨
平成15(2003)年	3月27日	上飯田連絡線開通
平成27(2015)年	10月 1日	楠地区名古屋市合併60周年
平成31(2019)年	2月11日	区制75周年

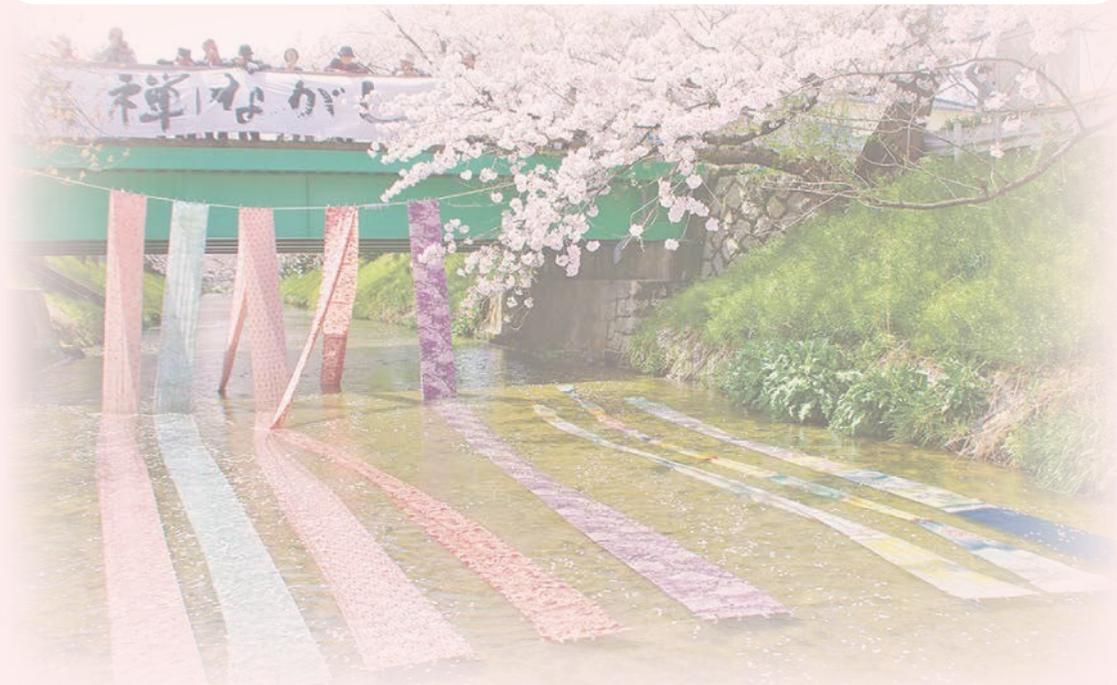


魅力と誇りに満ち、笑顔いっぱいの未来に！ ～Let's smile～

北区には、区民の皆さまに愛され、受け継がれてきた魅力がたくさんあります。例えば、都会の豊かな自然「黒川」に咲く桜は、地域の皆さまの手で植えられ、毎年わたしたちを楽しませてくれています。また、「名古屋型友禅」などの伝統工芸や楠地区の名産「味鋤いも」は、職人や地域の皆さまによって大切に守られてきました。さらには、北区ジャズの街プロジェクト「KITA JAZZ!」が平成30(2018)年にスタートしました。これまで、さまざまな立場でジャズに関わってきた方々と協力しながらいくつかの新しい試みも行い、ジャズの輪が広がりつつあります。

北区区民アンケートで、北区に愛着を感じている理由の第1位である「買い物や交通の便利がよいところ」は北区の魅力の1つと考えています。

このように北区にある多くの魅力を区民の皆さまとともに再発見し、さらに魅力的なものへと磨き上げることで、北区への愛着と誇りを高めてまいります。北区の誰もがまちの魅力に触れ、発信し、共感することで、区民の皆さま一人ひとりの「笑顔が満開!のまち」をめざします。



施策1 愛着と誇りを育むまちづくり



北区は、庄内川、矢田川、黒川など大小河川が流れ、名城公園、志賀公園、楠公園など緑豊かな公園にも恵まれています。また、北区の歴史は古く、弥生時代の遺跡が発掘されるなど、貴重な史跡や文化財があり、「味鉢いも」栽培や「名古屋型友禅」をはじめとした伝統工芸も残っています。このような北区にある魅力資源を区民の皆さまが身近に感じ、愛着と誇りをもっていただけるようなまちづくりをすすめます。

黒川などの水辺空間の魅力発信

黒川をはじめとした水辺空間に親しみ、その魅力を知る機会をつくることで、北区への愛着と誇りを育み、北区の豊かな自然を次世代に伝えていきます。

黒川友禅流し

かつて黒川で盛んに行われていた名古屋型友禅の糊落としを再現する催しです。川面に設置されたステージではジャズや琴の演奏も披露されます。



黒川観察会・黒川清掃

地域団体の協力のもと、小学校の総合学習や「夏休み親子観察会」を開催し、子どもたちが黒川で生き物に触れる機会を提供します。また、区民の皆さまと黒川周辺の清掃活動を実施します。



北区の歴史・文化の魅力発信

北区の歴史・文化や自然と触れ合いながら、幅広い年齢層の方に北区の魅力を再発見していただき、北区への愛着と誇りを育みます。

伝統工芸のPR

伝統工芸士の方やふるさと北文化に親しむ会と協力し、魅力的な伝統工芸品の展示や体験会を行います。



KITA JAZZ!

「北区の魅力“ジャズ”を区民の皆さまとともに育み、誰もが気軽にジャズに親しめる」をコンセプトに、コンサートやワークショップ※を開催します。北区のテーマ曲「Departure-Theme of Kita Ward-」や「KITA JAZZ!体操」に親しんでいただけるようPRします。



※ワークショップ…さまざまな立場の人々が集まって、自由に意見を出し合い、互いの考えを尊重しながら意見や提案をまとめ上げていく場のこと。

キタッコプライドづくり

次世代を担う子どもたちが、北区に愛着をもち、育ったまちを誇りに思えるよう、まちや自分たちの将来について考える機会をつくります。

北区一日子ども区長

北区の未来を担う小学生が区役所の仕事や北区の魅力、特性を知り、北区について考えることで子どもたちに北区への興味をもってもらう取り組みを行います。



子ども未来会議

中学生などが、まちづくりをテーマにしたゲームなどを通じて、まちづくりへの興味関心を深め、自分たちの将来について考えます。



目標	現状値	目標値
区民が愛着や誇りをもてるまち 「北区独自の魅力や文化で自信をもって紹介できるものがある」と思う区民の割合	32.7%	40%

注) 現状値および目標値は北区区民アンケート(P6参照)による。(現状値は令和元年実施、目標値は令和5年実施予定の数値。以下同じ。)

■まちの未来予想図 令和5年度に向けた区の主な取り組みの方向性を示しました。

内容	R元	R2	R3	R4	R5
黒川などの水辺空間の魅力発信	黒川友禅流し・黒川観察会・黒川清掃の実施				区制80周年記念事業開催
	桜保全プロジェクト (桜保全の検討)	保全計画策定 ★NEW	施肥・剪定 ★NEW		
北区の歴史・文化の魅力発信	伝統工芸の展示、体験				区制80周年記念事業開催
	KITA JAZZ!	体操PR動画作成 → 体操の普及			
	ミュージシャンの派遣				
		ワークショップ ★NEW			
キタッコプライドづくり	子ども未来会議の開催、北区一日子ども区長の実施				

～関係機関の取り組み紹介～

名城公園フラワープラザ	北区の歴史や伝統工芸の展示会や体験イベントの開催。
北図書館	「街道と旅」のコーナーを設置。街道関係、名所図会などの展示。
北文化小劇場	伝統工芸見学ツアーの開催。

施策2 「発信」したくなるまちづくり



わたしたちは、何気ない生活の中で、知らず知らずのうちにまちの魅力に触れ、まちの面白さを体感しています。また、趣味や人とのふれあいなど「生きがい」は、わたしたちの生活を豊かにします。北区の誰もがまちや生活を楽しみ、思わず誰かに話したくなる(=発信したくなる)ようなまちをめざします。

戦略的な情報発信

北区の区政情報や魅力など必要な情報が受け手に届くよう、効果的な情報発信を行います。また、区民の皆さまが情報発信したくなるような仕掛けづくりをし、情報の拡散を図ります。

キタッコ広報大使

Twitterでは北区のマスコットキャラクター「キタッコ」が北区の魅力などを楽しく紹介しています。また、Facebookでは、区役所からのお知らせや、イベント、防災情報など北区に関する情報を幅広く発信しています。



Twitter



Facebook



北区のマスコットキャラクター
キタッコ

サポーターづくり

気軽に参加できる行事を通じて、区民の皆さまの交流を深め、地元愛を育むことで、まちづくりの輪を広げ、担い手づくりをすすめます。また、産学官が連携した取り組みをすすめ、北区の魅力と発信力のさらなる向上、持続可能なまちづくりをめざします。

区民まつり・楠フェスタ

子どもから高齢者までが楽しく交流を深めることができるまつりを開催します。また、楠地区の住民同士のふれあいや交流を深め、住みよいまちづくりを図るために、楠地区5学区が一丸となって、楽しむことのできる行事を実施していきます。



サステナまち計画

若者と地元企業が、「地域課題」をテーマに、持続可能な社会やまちづくりについて共に考えるワークショップを開催します。青少年交流プラザ、愛知学院大学、地元企業などと連携して実施しています。



生涯学習の推進

生涯にわたる生きがいをづくりのため、スポーツや文化芸術活動の機会や情報提供を行っていきます。そのため北スポーツセンター、黒川スポーツトレーニングセンター、北生涯学習センター、北文化小劇場などの関係機関と連携していきます。

スポーツイベントの開催

スポーツ推進委員、北区体育協会、各種スポーツ団体と協働したスポーツ大会の開催を通じて、区民の皆さまの誰もが、スポーツを気軽に楽しむことができる機会をつくります。



文化芸術イベントの開催

区民の皆さまが日頃活動している成果を発表する行事を開催し、文化や芸術に親しむ機会を提供します。



目標	現状値	目標値
北区の魅力や情報が発信されているまち 「北区の魅力や必要な情報が発信されている」と思う区民の割合	47.2%	55%

■まちの未来予想図

内容	R元	R2	R3	R4	R5
戦略的な 情報発信	Twitter・Facebookでの情報発信				
サポーター づくり	区民まつり・楠フェスタの開催				
	サステナまち計画の開催				
生涯学習の 推進	スポーツイベント・文化芸術イベントの開催、情報提供				
		子ども・若者のイベント参加の推進 ★NEW			

■全員参加のまちづくり～区民や関係機関ができること～

それぞれの取り組みの中で、将来像に向けて、「区民一人ひとりができること」、「関係機関などが協働ですること」を示しました。

取り組みの具体例		区民一人ひとりが できること	区民・行政・事業者・ 大学などが協働ですること	行政(区役所)が すること
施策	事業			
愛着と誇りを 育むまちづくり	キタッコプライド づくり	経験をきっかけに未来の まちづくりを担う存在になる。	児童・生徒が主体的に参加 できる取り組みを実践する。	児童・生徒が興味関心を深 める企画を提案、実践する。
「発信」したく なるまちづくり	サポーターづくり	区に愛着をもち、地域課 題を自分事として捉える。	区役所と連携し、情報共有 や事業の運営を行う。	関係機関と情報共有し、事 業を活性化する。



北区とジャズ?

名古屋最大級のジャズイベントが毎年開催され、ジャズアンサンブル部や市民ビッグバンドが地域で活躍するなど、北区はジャズが盛んな地域です。

名古屋ジャズストリート in 大曽根商店街

平成25(2013)年から毎年10月に大曽根商店街で開催される名古屋最大級のジャズイベントです。入場無料で、国内外の本格派ジャズアーティストの演奏を聴くことができます。



若葉中学校 ジャズアンサンブル部



市内中学校ジャズ部で最も長い歴史を誇ります。毎年、神戸で開催される大会では数々の賞を受賞しています。地域の行事などでの演奏も積極的に行っています。

The Polar Star Jazz Orchestra "PSJO"

平成27(2015)年6月に結成された市民ジャズビッグバンド。20~70代のメンバー約30人が活動しています。バンド名は「北区の星になる」という意気込みから「北極星(The Polar Star)」と名づけられました。



取り組みの概要

北区の魅力「ジャズ」を区民の皆さまとともに育み、ジャズが「人と人」「人とまち」をつなぐ潤滑油となることで、まちの活性化を図ります。

①触れる・耳にする

何気なくジャズに触れ興味を持つ

②聴く・体感する

ジャズを体感し、楽しみ、ジャズに親しみを覚える

③参加する

KITA JAZZ!の発信主体となって盛り上げる

笑顔が満開!
のまち



コンサート



ワークショップ



KITA JAZZ!体操

KITA JAZZ!メンバーズ

※取り組みの一例です。

～関係機関の取り組み紹介～

- 北図書館の「KITA JAZZ!のコーナー」での本やCDなどの貸し出し
- 地下鉄黒川駅のKITA JAZZ!のポスター掲示
- 北生涯学習センター、北文化小劇場のジャズなどの音楽的な講座やイベントの開催
- 名城公園フラワープラザのイベント時等のジャズ演奏
- 北区社会福祉協議会の「KITA JAZZ!体操」の実施・普及活動

II

誰もがいきいきと健康で、いつも笑顔で暮らせるまちに！ ～Keep on smiling～

人生100年時代を目前にして、子どもから高齢者まで、誰もがいつも笑顔で元気に活躍し続け、安心して暮らすことができる社会が求められています。

北区では、子育て世帯の不安解消や負担軽減のための取り組み、地域の人と接する機会の減った子どもとひとり暮らし高齢者をつなげる多世代交流、障害のある方への理解をすすめる啓発活動などを行ってきました。さらに、高齢者の住みやすいまちづくりをめざす「北区まるっとすまいる大作戦」、区内の保育所や主任児童委員が親や子ども同士のつながりをつくる「子育て支援の一む」、授産製品の販売促進イベントなど、さまざまな関係機関や事業者と連携し、多くの区民が関わる取り組みが行われています。

区民の皆さま誰もが健康で、子育て家庭では親子ともに健やかに成長し、地域の子どもや高齢者がつながり、障害のある方も住み慣れた地域で安心して過ごすことのできる「笑顔が満開!のまち」をめざします。



施策3 安心して子どもを産み育てられるまちづくり



子どもは大切な未来の担い手です。その子どもを育てる環境は、核家族化や地域のつながりの希薄化により変化し、子育ての負担感や孤立感を感じている区民が増えています。

こうしたことから、北区では関係機関や地域ぐるみで子育て世帯を支援する仕組みや子育て世帯のニーズに沿った出産や産前・産後・子育てに関する施策を充実させ、その情報が子育て家庭にもれなく行き届くことで、子育ての不安を解消し、子育てを楽しむことができるまちをめざします。

地域ぐるみの子育て支援

子育ての負担感や孤立感を軽減させるため、親子が孤立しないよう、地域や関係機関などが連携・協力して見守り支援を行います。

赤ちゃん訪問

主任児童委員*による赤ちゃん訪問などを通じて、子育て支援の情報を提供します。



子育てサロン

各学区で主任児童委員などが中心となって、乳幼児と保護者が楽しく遊び、仲間づくりができる子育てサロンを開催しています。



子育て支援の一む

区内の保育所や主任児童委員などの協力による子育て支援の一むを運営し、子育て世代の交流を図ります。



児童虐待防止啓発

子育てに関する幅広い知識を習得する講座の開催や児童虐待防止推進月間にキャンペーンを実施するなど、児童虐待防止啓発を行います。



*民生委員・児童委員から選任され、子どもや子育て支援を専門に担当する。民生委員・児童委員については、36ページを参照下さい。

北区子育てあんしんカードとは

北区の子育て世帯が緊急時や子育てに悩んだときにすみやかに関係機関に連絡がとれるように、関係機関の連絡先をまとめたカードです。

子育て環境の整備

子育て世帯のニーズに沿った保育施設や子育て支援施策の情報をさまざまな手段で広く発信していきます。また、「なごや子ども応援委員会」*や医療機関などとの連携を強化し、虐待防止や母子保健向上につなげます。

北区保育施設ガイド

多くの世帯がライフスタイルに合った保育施設を選択できるよう、保育施設見学時に役立つ各施設の情報を北区ホームページに掲載しています。



*なごや子ども応援委員会については、20ページを参照下さい。

ほいくえん子育てカレンダー

エリア支援保育所と連携し、保育所が地域に開放している行事や子育て支援の一むの開催日の情報を毎月カレンダーにして発行し、区役所、児童館、図書館などの施設で配布しています。また、主任児童委員の赤ちゃん訪問の際にも配布しています。



目標	現状値	目標値
安心して子どもを産み育てられるまち 「北区は子育てしやすいまちだ」と思う区民の割合	69.7%	83%

■まちの未来予想図

内容	R元	R2	R3	R4	R5
地域ぐるみの子育て支援		子育て支援の一むの実施			
		児童虐待防止啓発活動の実施			
子育て環境の整備	北区保育施設ガイドによる情報提供	北区保育施設ガイドの情報更新			
		北区子育てあんしんカードの配布 ★NEW			
		ほいくえん子育てカレンダーの活用			

■全員参加のまちづくり～区民や関係機関ができること～

取り組みの具体例		区民一人ひとりが できること	区民・行政・事業者・ 大学などが協働すること	行政(区役所)が すること
施策	事業			
安心して子どもを産み育てられるまちづくり	地域ぐるみの子育て支援	子育て世帯同士の交流を深め、情報交換できる地域のつながりをつくる。近隣の子育て中の親子を見守る。	関係機関などが連携し、取り組みの充実を図る。	事業を企画し、効果的PRを行う。
	子育て環境の整備	ニーズに沿った情報を収集し、子どもの健やかな成長につなげる。	関係機関などが連携し、情報共有を図る。	関係機関などから迅速に正確な情報の収集を行い、発信する。

施策4 子ども・若者がのびのびと育ち学べるまちづくり

子どもは日々の生活や将来のことなど、さまざまな悩みや不安を抱えています。

また、少子化や地域におけるつながりの希薄化により、子どもが年齢の違う子どもと遊ぶ機会が減少しています。

北区は子どもや若者が夢や希望をもち、心身ともに健やかに成長でき、のびのびと過ごすことができるまちをめざします。

子ども・若者がのびのびと育つ環境づくり

子どもや若者がさまざまな体験を通じて、心身ともに健康に育つよう支援します。あわせて地域が子どもや若者にとって安心して過ごせる居場所となるよう、地域における青少年の健全育成を推進します。

青少年の健全育成活動

地域の世話やき活動やPTAパトロールなどを通じて、区役所、地域団体、学校などが協働して、地域における声かけや見守りの環境づくりをすすめています。



子ども会活動の活性化

子ども会活動の活性化を支援することにより、地域を単位に異年齢間交流を通じた子どもの健全な成長を図ります。



目標	現状値	目標値
子ども・若者がのびのびと育ち学べるまち 「北区は子ども・若者がのびのびと育つ環境だ」と思う区民の割合	59.7%	65%

■まちの未来予想図

内容	R元	R2	R3	R4	R5
子ども・若者がのびのびと育つ環境づくり	青少年の健全育成活動の実施				
	子ども会活動の活性化支援の実施				
	非加盟学区の子どもが参加できる行事の実施				

なごや子ども応援委員会について

さまざまな悩みや問題を抱える子どもを総合的に支援するため、市内11ブロック毎にスクールカウンセラー（以下、「SC」という。）を始めとする常勤の専門職から成るチームを配置し、活動する教育委員会の取り組みです。北ブロック（北区全域）では北陵中学校に設置されているほか、各中学校に配置されたSCと連携し、ブロック内の事案に対応します。

「北区の子どもに関する取り組み」

<p>妊娠 と 乳児</p>	<p>母子健康手帳交付時面接【保健センター】 ファミリー教室【保健センター】 乳児家庭全戸訪問【保健センター】 赤ちゃん訪問【主任児童委員・児童委員】 乳幼児健康診査【保健センター】 離乳食教室【保健センター】 乳幼児発達相談【保健センター】</p>	
<p>未就学児</p>	<p>言葉のめばえ教室【保健センター】 おやこ歯の健康教室【保健センター】 子育てサロン【主任児童委員など】 子育て支援の一む【保育所・主任児童委員・民生子ども課など】 子育て広場【保育協会・民生子ども課】 交通安全教室【交通指導員】 北区保育施設ガイド【民生子ども課】 ほいくえん子育てカレンダー【エリア支援保育所・民生子ども課】 防災ピクニックの支援【総務課】</p>	
<p>小学生</p>	<p>登下校時の見守り活動【交通指導員・交通委員】 【防犯委員・女性会・PTA】 交通安全教室【交通指導員】 子ども会活動【北区子ども会育成連絡協議会・民生子ども課】 PTAパトロール【小学校・PTA・地域力推進室】 ジュニアスポーツクラブ活動支援【地域力推進室】 留守家庭児童健全育成事業【留守家庭児童育成会】 夏休み親子観察会【地域力推進室】 北区一日子ども区長【企画経理室】</p>	 
<p>中学生</p>	<p>青少年健全育成活動【保護司会・少年補導委員会】 子ども未来会議【地域力推進室】</p>	

関係機関が実施している事業です。情報発信などで連携協力しています。

いいお産の日(11月3日)のイベント【西部医療センター】
地域子育て支援拠点事業【NPO】
託児付のスポーツ教室・各種講座
【北スポーツセンター、黒川スポーツトレーニングセンター、北生涯学習センター】
高校生による英語の本の読み聞かせ活動【北高校・楠図書館】
子どもまつり【名城公園フラワープラザ】
親子で参加できる防災キャンプ【名城公園フラワープラザ】
子ども向けフェスティバル【ネックスプラザ】
トワイライトスクール【市子ども青少年局】
トワイライトルーム【市子ども青少年局】

施策5 高齢者が自分らしく生活できるまちづくり



北区は、公営住宅やUR賃貸住宅が多いことなどから、特にひとり暮らし高齢者数が16区の中でも最も多く、認知症者数も増加が見込まれます。

このような北区の地域の特性から、地域で高齢者を見守る仕組みを確立し、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるための環境が整った魅力あるまちをめざします。

北区まるっとすまいる大作戦

高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らすことができるために、「住まい・医療・介護・予防・生活支援」が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築・推進が必要とされています。北区では、地域包括ケアみらい図を策定し、これに基づき取り組みをすすめます。認知症施策、介護予防や生活支援などの取り組みを通じて、特に今後は、行政、関係機関、地域の連携を強化し、若い世代などへも働きかけることで、地域の自発的な活動や地域活力の向上を図ります。

地域包括ケアみらい図

北区の現状や様々な課題を区民や関係者にわかりやすく示し、地域包括ケアの理解や今後の取り組みへの協働や連携強化を図ります。



介護予防の推進

身近な場所で認知症予防をはじめとした介護予防に取り組めるようすすめます。



目標	現状値	目標値
高齢者が自分らしく生活できるまち 「北区は高齢者にとって住みやすいまちだ」と思う区民の割合	74.0%	80%

■まちの未来予想図

内容	R元	R2	R3	R4	R5
北区まるっとすまいる大作戦 地域包括ケアみらい図作成		認知症フレンドリーコミュニティづくり* ★NEW	認知症施策の推進		地域包括ケアみらい図の実現
		認知症検診の対応			
		地域健康つうしんぼ、おでかけマップの作成 ★NEW	介護予防の推進 地域健康つうしんぼ、おでかけマップの活用		
		生活支援・在宅医療・介護連携など (地域ささえあい事業、はち丸ネットワークなど)			
		あんしんシールの事業者等への情報提供 ★NEW			
		ICT*実証実験 ★NEW	ICT 利活用の推進		

※認知症フレンドリーコミュニティづくり…認知症の人が、高い意欲をもち、自信を持って意義のある活動に参加、貢献できると感じられるようなコミュニティ(英国アルツハイマー病協会)

※ICT…Information and Communication Technologyの略。情報・通信に関する技術の総称。



北 区
**まるっと
すまいる
大作戦**

【北区まるっとすまいる大作戦とは】

北区に暮らす高齢者が、住み慣れた地域で最期まで自分らしい生活を送ることができるようにする取り組みについて、「北区まるっとすまいる大作戦」としてすすめていくものです。

北区の2025年のまちや暮らしの姿を「北区地域包括ケアみらい図」として、たくさんの方の意見を聞きながら作成しました。「希望する生き方を、自ら選び実現できるまち」として、以下のようなイメージ図を将来像として掲げ、取り組みをすすめていきます。

**最期まで安心して
自分らしく
暮らせるまち**



住み慣れた我が家で
医療や介護のサービス
を受けています。



毎朝公園に老若男女が
集まり、KITA JAZZ! 体操で
交流しています。

**認知症の人が
安心して
暮らせるまち**



認知症の高齢者が1人でも
買物を楽しんでいます。



忘れがちなゴミ出し情報を
AI*が教えています。



IOT*技術に見守られて
認知症の高齢者が
散歩を楽しんでいます。

**持ちつ持たれつ、
いきいきと
暮らせるまち**



近所のサロンで
気軽に‘よろず相談’
しています。



地域の空き家を活用して、
身近な場所でサロンが
行われています。

※AI…Artificial Intelligenceの略。人工知能。言語の理解や推論・問題解決などの知的行動を人間に代わってコンピュータに行わせる技術。
※IOT…Internet of Thingsの略。モノのインターネット。コンピュータなどの情報・通信機器だけでなく、世の中に存在するさまざまな物体(モノ)に通信機能を持たせ、インターネットに接続したり相互に通信したりすることにより、自動認識や自動制御、遠隔計測などを行うこと。

～関係機関の取り組み紹介～

北環境事業所	名古屋市が収集する家庭ごみや資源を、所定の排出場所まで持ち出すことが困難な方々を対象に支援するため、ご自宅の前に出されたごみや資源を直接収集。ごみが出されていない場合、安否確認や見守りの役割を果たす仕組み。
UR都市機構	UR賃貸住宅では高齢者からの相談などに対応する担当者の配置を推進。尾上団地では、多世代交流イベントを開催。
北生涯学習センター	高齢者の生きがいづくりや作品展示の拡大を実施。区役所や関係事業所と協力して高齢者支援の各種講座を開催。
上飯田福祉会館	認知症予防リーダーの講習会の開催。

施策6 障害のある方が安心して生活できるまちづくり

障害のある方が地域で安心して生活するためには、障害を理由とする差別の解消をすすめることが重要です。近年、「名古屋市障害のある人もない人も共に生きるための障害者差別解消推進条例」などにに基づき障害者差別相談センターを中心とした相談体制を整備するとともに、市民への広報、啓発活動に努めてきました。しかし、今なお、障害や障害のある方に対する誤解や偏見があり、周囲の理解が不十分であることから、障害者の自立や社会参加が妨げられています。北区では、障害のある人もない人もお互いに人格と個性を尊重しあいながら、安心して暮らすことができるまちをめざします。

障害のある方への理解の啓発

障害のある方への理解をすすめるため、啓発活動を行う他、障害者差別相談センターと連携し、障害のある方からの相談に対応します。

講演会・音楽祭の実施

自立支援連絡協議会と共催で、講演会や出前講座等を実施し、障害のある方への理解を啓発します。また、音楽祭等を障害のある方を中心に企画・運営し、つながり、支え合う活動の支援を行います。



障害理解のための啓発

障害への理解につながるような内容を、毎月発行するキタッコいちばカレンダーの裏面に掲載し、区民に啓発します。



障害のある方の就労支援

授産製品*の販売促進を行い、障害のある方の就労支援、自立生活の支援をすすめます。

*授産製品…障害のある方が地域において一般企業などへの就労など自立した生活を営めるよう障害者施設、地域共同作業所において作業訓練を行っており、授産製品はそうした作業訓練の一環として障害のある方が製作した製品のこと。

区役所での授産製品の販売

区役所内で毎日、キタッコいちば(授産製品の販売所の愛称)を開催するとともに、社会福祉協議会と協力し、イベントでの販売を実施します。



楠支所管内での授産製品の販売

楠支所では、楠地区管内で催される各種イベントにおいて授産製品の販売を企画し、障害のある方の就労と自立生活を支援します。



障害福祉施策の推進

関係機関と連携し、障害のある方が地域で安心して暮らしていくためのネットワークを構築するとともに、地域課題の検討を行います。

自立支援連絡協議会との連携

自立支援連絡協議会と連携し、研修会などを実施し、施設職員のスキルアップを行うほか、顔の見えるネットワークを構築します。



※民生委員については、36ページを参照下さい。

北区福祉地域相談

障害者基幹相談支援センターと共催し、出張相談窓口を月1回、各学区を巡回する形で開設します。民生委員*との懇談会も合わせて開催します。



目標	現状値	目標値
障害のある方が安心して生活できるまち <small>「区民が心のバリアフリー（障害のある方への理解）がすすんでいるまちだ」と思う区民の割合</small>	48.6%	55%

■まちの未来予想図

内容	R元	R2	R3	R4	R5
障害のある方への理解の啓発	講演会・音楽会の開催				
	チラシ等による啓発活動				
障害のある方の就労支援	授産製品の販売				
	区役所での常設販売				
	楠支所管内での販売機会の創出 ★NEW				
	北区社会福祉協議会との協力による販売の促進支援				
障害福祉施策の推進	自立支援連絡協議会との連携				
	出張相談窓口の実施				

■全員参加のまちづくり～区民や関係機関ができること～

取り組みの具体例 施策	事業	区民一人ひとりが できること	区民・行政・事業者・ 大学などが協働すること	行政（区役所）が すること
障害のある方が安心して生活できるまちづくり	障害のある方への理解の啓発	障害および障害のある方に対する理解を深める。	地域で直面する課題について、共に考え解決できるよう、交流をすすめる。	関係機関とも連携しながら、障害への理解につながる啓発活動を行う。

施策7 区民が健康でいきいきと暮らすまちづくり



区民の皆さまの生活習慣の改善による生活習慣病の予防、健康寿命の延伸、生活の質の向上を図ります。そのため、健康への関心を高め、具体的な行動につなげるように働きかけ、「健康」に関して高い意識を持つまちをめざします。

家庭や地域で取り組む健康づくり

誰もがいきいきと健康に暮らすことができるよう、健康づくりへの関心向上へのきっかけづくりや健康保持増進に必要な知識の普及啓発を図ります。

地域健康づくり事業

幅広い世代を対象に、運動・栄養・保健などに関する指導を行うことで、生活習慣予防の知識の普及や生涯にわたる健康づくりと健康保持を支援します。



健康に関する普及啓発事業

区民の集まる行事の中で、保健センターで行う事業のPRや健康チェック、健康相談などを行い、健康づくりへの関心をもってもらいます。



目標	現状値	目標値
区民が健康でいきいきと暮らすまち 「日常生活の中で健康について意識をしている」区民の割合	85.0%	90%

■まちの未来予想図

内容	R元	R2	R3	R4	R5
家庭や地域で取り組む健康づくり	地域健康づくり事業の実施				区制80周年記念普及啓発事業
	普及啓発事業の実施(イベント時の普及啓発)				

～関係機関の取り組み紹介～

西部医療センター	市民公開講座や糖尿病教室、腎臓病教室、看護の日など医療や健康に関する講座やイベントの開催。
北スポーツセンター 黒川スポーツトレーニングセンター	子どもから高齢者までを対象にした定期スポーツ教室、ふれあいスポーツ事業など各種事業を開催。
北生涯学習センター	ロコモをはじめとした健康体操の開催。
北図書館	西部医療センターと連携した「医療情報コーナー」の設置、医療関連の図書資料を提供。



安心・安全・快適で、笑顔がいっぱいのまちに！ ～Protect your smile～

北区は交通の利便性や、河川や公園など水と緑が豊かな環境が特徴です。しかし一方で、河川が多いことによる水害の危険性や、平坦な地形や広い幹線道路に起因する自動車や自転車の事故、犯罪の多発や公共マナー低下などの不安の声が区民の皆さまから届いています。

これまで北区では、地域と連携した防災知識の啓発活動や、まちの環境を守るための清掃活動、ペットの飼い方のマナーの啓発などを行ってきました。令和元年度には、区民の皆さまから交通安全標語を募集したところ970点もの応募をいただきました。そして、その優秀作品2点を活用した交通安全啓発の取り組み“キタク大作戦”をはじめました。

安心・安全で快適なまちであるためには、区民の皆さま一人ひとりが災害や事故などを「自分事」として意識すること、関係機関・行政が連携し、お互いが助け合う地域のつながりを高めることが重要です。

北区役所は、地域、関係機関とともに区民の皆さま全員の笑顔が、危険や不安から守られるよう「笑顔が満開!のまち」をめざします。



施策8 地域防災力の高いまちづくり



自分で自分や家族を守るという「自助」、市民や事業者が助け合って地域を守るという「共助」、行政が市民や事業者の活動を支援し、それらの者の安全を確保するという「公助」の理念のもと、各種防災訓練の充実を図るとともに、防災意識や地域防災力の向上を支援し、災害に強いまちづくりをすすめます。

災害に備えた訓練の実施

大規模災害に備え、区民の皆さまが避難所開設や運営を自主的に行うことができるよう、より実践的な訓練を幅広く行います。

総合防災訓練

地域の住民の皆さまをはじめ、障害のある方や中高生など幅広い世代への参加を呼びかけ、要配慮者支援訓練や地区本部設置訓練といったより実践に近い訓練を行います。



要配慮者*避難所体験・運営訓練

自立支援連絡協議会防災地域づくり部会、北区社会福祉協議会と協力して要配慮者を対象とした訓練を行います。



※要配慮者…高齢者、障害者、傷病者、乳幼児、外国人などの災害に際して必要な情報を得ることが困難で、また、自分の身体、生命を守るために迅速かつ適切な行動をとることが困難であるとされる方。

防災知識の啓発や地域防災力の向上支援

大規模災害に備え、「自助」、「共助」の意識を高くもち、発災時に自主的に行動できるよう、防災知識の普及啓発や地域における防災活動を支援します。

地域防災力の向上

地域の方や消防署、防災ボランティア団体などのさまざまな団体と連携し、災害時の危険箇所などを確認するまち歩きで得られた情報や地域の方が把握している情報を反映した避難マップなどを作成するワークショップを開催します。



防災ピクニックの支援

子育て世帯に対して、防災に関する普及啓発を行うとともに、親子と一緒に楽しんで学べる防災ピクニックの開催を支援します。



目標	現状値	目標値
地域防災力の高いまち 「自助」「共助」に対する意識をもち、日頃から災害に備えている」区民の割合	60.3%	100%

■まちの未来予想図

内容	R元	R2	R3	R4	R5
災害に備えた訓練の実施	総合防災訓練・水防訓練・医療救護所訓練の実施				
	学区避難所運営訓練・要配慮者避難所体験訓練の支援				
防災知識の啓発や地域防災力の向上支援	地区防災カルテの活用による地域防災力の向上				
	防災ピクニックの支援			防災ピクニックの充実	
	防災知識の普及啓発				
	防災イベントの実施				
	東海豪雨20年事業 ★NEW				

■全員参加のまちづくり～区民や関係機関ができること～

取り組みの具体例		区民一人ひとりが できること	区民・行政・事業者・ 大学などが協働すること	行政(区役所)が すること
施策	事業			
地域防災力の 高いまちづくり	防災知識の啓発 や地域防災力の 向上支援	学んだ知識や経験を 自分や家族の日常の 防災に活かす。	近隣住民や関係機関等で 情報を共有し、防災意識の 向上に努める。	関係機関と連携しながら、 防災意識が向上する計画 を実施する。

東海豪雨から20年

1. 東海豪雨と北区

平成12(2000)年9月の東海豪雨は、北区に床上浸水2,221棟、床下浸水1,172棟、負傷者2名の大きな被害をもたらしました。北区では区を横断するような形で庄内川、矢田川が流れ、特に楠地区では八田川や新地蔵川、生棚川などの中小河川が多く流れており、大雨の影響で河川氾濫が発生しやすい地形となっています。

2. 令和2(2020)年度の取り組み～東海豪雨から20年～

東海豪雨から20年が経過し、災害の記憶も薄れつつあります。東海豪雨20年を機に、これまでの水害や東海豪雨の歴史を振り返り、水害対策の現状や、いざというときの「自助」「共助」を考えるようなイベントを実施します。また、区民と区役所が一体となってこれからの防災について考える取り組みを行います。



～関係機関の取り組み紹介～

防災

北消防署	区役所などと協力して各世帯を戸別訪問して、防災意識の啓発を実施。家具転倒防止ボランティアを養成し、自力で家具転倒防止対策ができない世帯へ派遣。
北郵便局	災害時における物資等の集積場所の提供、避難場所への臨時ポストの設置。
北生涯学習センター	防災講座の開催。
名城公園フラワープラザ	親子で参加できる防災キャンプ。

施策9 安心・安全に暮らせるまちづくり



北区では、行政、事業者、区民及び団体などが、安心・安全で快適な環境に関する地域の身近な課題について、それぞれの役割のもと、協働して取り組みをすすめるため「北区安心・安全で快適なまちづくり推進協議会」を立ち上げ、区民の皆さまが安心・安全に暮らすことのできる地域社会を実現するよう取り組んでまいりました。

少子化・高齢化といった社会状況が変化する中においても、警察署、消防署や地域と連携した取り組みや、広報・啓発活動、地域防犯活動への支援を通じて、交通安全意識の浸透や地域の防犯力の向上、住宅防火対策の強化をめざします。

交通安全の推進

区民の皆さまの交通安全に対する意識を高めるため、地域や警察をはじめとした関係機関と連携した広報・啓発活動を行います。

キタク大作戦

公募により選定された交通安全標語を活用し、区民が交通安全をより身近に感じられる環境づくりを推進します。



子ども・高齢者の交通安全

子どもや高齢者などの交通弱者の交通安全意識の向上を図ります。



生活安全の推進

区民の皆さまが安心して快適に暮らせるよう、区役所・区民・関係機関が協働して主体的に関わる活動を行います。

防犯活動キャンペーン

北区内で発生件数の多い重点犯罪を中心に、区内事業者と協力した防犯キャンペーンなどを実施します。また、北警察署や愛知学院大学の学生ボランティア団体と連携した防犯活動を実施します。



高齢者への生活安全の推進

関係機関やUR都市機構と連携し、地域活動を通じた高齢者への啓発活動を行います。また、北消防署では住宅用火災警報器の設置促進や火気管理といった防火指導により、住宅防火対策を推進します。



目標	現状値	目標値
安心・安全に暮らせるまち 「安心・安全な生活ができる環境が整っている」と思う区民の割合	55.2%	60%

■まちの未来予想図

内容	R元	R2	R3	R4	R5
交通安全の推進	キタク大作戦の実施				交通安全標語の定着
	交通安全標語の募集	交通安全標語の普及 ★NEW			自転車安全利用の定着
		疑似体験装置による自転車安全利用の推進 ★NEW コスメット隊*によるヘルメット着用の啓発			
		疑似体験装置による 高齢者ドライバーの交通安全啓発 ★NEW			
		子ども・高齢者等の交通安全啓発			
生活安全の推進		防犯活動キャンペーン			
		高齢者への生活安全の推進			

※コスメット隊…北区の花“コスモス”とヘルメットによる造語

■全員参加のまちづくり～区民や関係機関ができること～

取り組みの具体例		区民一人ひとりが できること	区民・行政・事業者・ 大学などが協働すること	行政(区役所)が すること
施策	事業			
安心・安全に暮らせるまちづくり	交通安全の推進	自分や家族の交通安全マナーの向上に努める。	地域住民や関係機関などで連携し、交通安全マナーの啓発活動の効果を高める。	関係機関と連携しながら、効率的な交通安全啓発活動を実施する。

「“キタク”大作戦～コスモスで守る交通安全～」

“キタク”大作戦の目標	「区民の皆さまが無事に自宅に帰宅する」 より身近に交通安全を意識していただき、1件でも交通事故を減らせるような啓発活動を推進します。
“キタク”大作戦の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ● 標語を使った啓発活動を実施します。 北区の交通安全標語を使って、区民の皆さまにより身近に交通安全を感じてもらえる環境を創ります。 ● 地域ぐるみの啓発活動を推進します。 地域の中でも、お互いが交通安全を感じていただけるような環境を創るとともに、子ども・高齢者を中心に、自転車事故防止のため、自転車利用のマナーアップにつながるような啓発活動を実施します。



各部門の最優秀賞標語



- 交通安全
- スピード注意
- モラルを守って
- すてきな笑顔



- こわいんだ
- スピード出てる自転車は
- もっと落とせよ
- スマートに

施策10 快適に暮らせるまちづくり



名城公園や志賀公園、楠公園など緑豊かな公園で自然に触れあうことができ、都心部への交通利便性の高い北区は、住みやすい地域といえます。一方で、少子化・高齢化の進行、建築物の老朽化や暮らし方の多様化などにより住環境をめぐる問題は今後も増加していくと見込まれます。また、依然として近隣の犬猫について迷惑だと感じる方がいます。誰もが快適な生活環境を確保するために、地域や関係機関と区役所が連携し活動することで、社会生活のルールやマナーが守られたまちづくりをすすめます。

町を美しくする運動

地域や民間事業所、関係機関と連携した清掃活動や啓発活動を通じて、生活環境の向上をめざします。また、区の花「コスモス」の普及を図るなど、区民の皆さまの町を美しくする意識の向上をめざします。

地域ぐるみの清掃活動

環境事業所や土木事務所と連携した清掃活動や区内の民間事業所や愛知学院大学の学生との協働による清掃活動を行います。



花いっぱい運動

区民の方や小中学校、保育所、病院、福祉施設、区内のさまざまな事業所へコスモスの苗または種を配布し、区の花「コスモス」のPRや花の栽培を促します。



犬猫の飼い方マナーの向上

ペットを飼う人、飼わない人双方が快適で安心して暮らすことができるよう、犬猫の迷惑防止対策やマナー向上などの啓発を行います。また、災害時の混乱を避けるために、ペット同行避難に対する地域住民への理解や周知を図ります。

ペットの災害対策

災害への準備に関する啓発や同行避難時に避難所で円滑にペットの受付ができるよう、防災訓練で実際にペットを同行させた避難訓練を行います。



イエローチョーク作戦

犬の「フン害」防止対策として、放置された犬のフンの周りを黄色のチョークで囲み、日時を書くことによって迷惑を被っている人がいることを放置した飼主に伝える方法です。



目標	現状値	目標値
快適に暮らせるまち 「誰もが快適に生活できる環境が整っている」と思う区民の割合	56.3%	60%

■まちの未来予想図

内容	R元	R2	R3	R4	R5
町を美しくする運動	地域ぐるみの清掃活動				
	花いっぱい運動	コスモス配布先の見直し		コスモス配布先の見直し	
	違反広告物をなくす運動		パトロール地域の変更		パトロール地域の変更
犬猫の飼い方マナー向上	ペットの災害対策				
	イエローチョーク作戦				

■全員参加のまちづくり～区民や関係機関ができること～

取り組みの具体例		区民一人ひとりが できること	区民・行政・事業者・ 大学などが協働ですること	行政(区役所)が すること
施策	事業			
快適に暮らせるまちづくり	町を美しくする運動	ポイ捨てをしない。 自宅や勤務先などのごみを適切に管理する。	地域や事業所での清掃活動を行い、きれいな町への意識を高める。	関係機関と連携しながら清掃活動の普及に努め、町を美しくする意識を高める。

～関係機関の取り組み紹介～ **安心安全**

中部電力、東邦ガス	北警察署が中心となり、犯罪防止及び行方不明者の早期発見・保護のため「北区絆ネットワーク」を構築。
北高校	北警察署と協力して交通安全ポスターのデザインなど交通安全に関わる取り組みを実施。
北郵便局	配達時に発見した道路の陥没・亀裂などの情報を道路管理者へ提供。 配達車両への交通安全ステッカー貼付による啓発活動を実施。

～関係機関の取り組み紹介～ **快適**

北土木事務所、名城公園 フラワープラザ	名城公園を始めとした区内公園などで区の花コスモスを育ててPRを実施。
------------------------	------------------------------------



信頼される区役所づくり

昨今、社会状況の変化に対応し、安心して快適な暮らしを支える行政サービスを持続可能なものとして提供していくために、区役所は区民の皆さまとともに、地域の課題や区の特성에応じたまちづくりに取り組む必要があります。そのために、区民にとって、より身近で信頼される区役所をめざし、3つの将来像に向けた取り組みを区民の皆さまと協働してすすめていきます。

区民ニーズの把握・区政への反映

区の課題や取り組みの積極的な公表や、的確な区民ニーズの把握・区政への反映をすることで、区民の皆さまと顔の見える関係や区政への参画や協働づくりをすすめます。

区民会議※

区の課題や取り組みに対するご意見をいただき、今後の区政に活かします。



区まちづくり基金※

区にゆかりのある方や区民の想いがより区政へ反映できる仕組みづくりを推進します。



※区民会議…区民の区政への参画を推進し、区の将来の方向性等に関して意見を聴取する会議。各学区の区政協力委員長をはじめ、北区内の各種団体等の長がメンバーとなっている。

※区まちづくり基金…寄附金を活用する区と用途を指定することができ、区役所がさまざまな事業に活用する。

誰もが利用しやすい区役所づくり

区役所が常に来庁者目線に立ち、わかりやすく利用しやすい施設となるよう努め、区民の皆さまから信頼されるような来庁者サービスや窓口対応をめざします。また、増加する外国人市民に対し、必要な情報が伝わり理解されるよう、多様な言語、手段による窓口対応に努めます。

3S運動

「スマイル・スピーディ・セキュリティ」を心がけた窓口対応や業務を行うことで、区民から信頼され、満足度を向上させる職員をめざします。



来庁者サービスの充実

区役所に来庁される区民が心地よく感じられるよう、また、区民の皆さまが気軽に区役所にお越しいただけるよう、明るく親しみやすい雰囲気づくりをめざし、施設やサービスの充実をめざします。



メモリアルボード



支所での窓口対応の様子



包括連携協定

●愛知学院大学との連携協定(平成25年10月～)

まちづくり、防災、生涯学習、文化など幅広い分野において、相互に協力し、地域社会の発展に寄与することを目的に取り組んでいます。

●UR都市機構との連携協定(平成28年12月～)

少子高齢化への対応や災害に強いまちづくりなど社会環境の変化に伴う多様化する地域課題に対応し、持続可能な地域社会づくりを目的に取り組んでいます。

●国立大学法人名古屋大学大学院情報学研究科と株式会社デンソーとの連携協定(令和2年3月～)

ICTを活用したまちづくりなどの推進を目的に取り組んでいます。



学生ボランティアとの清掃活動



尾上団地での多世代交流

第3章 笑顔が満開！のまちになるために

1 地域との連携



地域では、そこに暮らす皆さま自らの手で、地域の安心・安全・快適のために活動している組織・団体があります。北区役所では、こうした地域の組織・団体と連携・協力し、「笑顔が満開!のまち」の実現をめざしています。

区政協力委員・災害対策委員

北区内の委員数 407人 (R2.4.1現在)

市政や区政に関する情報を地域の皆さまへお伝えし、皆さまのご意見を市や区に届けるパイプ役として、市長から委嘱されています。また、成人式や敬老会、運動会など地域の行事、毎月交通死亡事故ゼロの日の交通安全市民運動、青少年保護育成運動など、幅広く活躍しています。さらに、災害対策委員を兼務し、万が一災害が起きた場合は地域の取りまとめ役となります。



民生委員・児童委員

北区内の委員数 328人 (R2.4.1現在)

地域の皆さまの相談に応じ、行政などの専門機関に相談するなど、地域の社会福祉の増進を図ることを目的に厚生労働大臣から委嘱されています。ひとり暮らし高齢者のお宅を訪問するなど、孤立防止や相談支援に力を入れています。また、児童委員を兼ねており、「赤ちゃん訪問事業」などを通して、子育て世帯の支援にも取り組んでいます。



保健環境委員

北区内の委員数 609人 (R2.4.1現在)

市長から委嘱され、地域の公衆衛生向上のため活動しています。健康づくり事業、害虫等の駆除、浸水時の消毒薬配布といった保健センターの業務に協力するとともに、高齢化社会における介護予防・生活習慣病予防など、時代に即した市民ぐるみの活動に取り組んでいます。また、ごみ・資源の分別指導や環境保全活動など環境事業所の業務の支援も行い、活躍しています。



女性会

北区の会員数 約1,200人 (9団体)

地域の女性たちによる自主的な組織です。登下校時の見守り・あいさつ活動、女性の視点を活かした防災活動など「地域いきいき世話やきおばさん」として、地域の課題について、それぞれの地域にあった活動で取り組んでいます。



子ども会

北区の会員数 約2,200人 (77団体)

遊びを中心とした異年齢の子ども同士の集団活動を通じて、子どもの自立性・創造性・協調性を養い、心身の健全な育成を目的に活動を行っています。タコあげ大会などの地域の季節行事やスポーツ活動を行うとともに、資源回収などの社会奉仕活動も行っています。



老人クラブ

北区の会員数 約5,200人 (124クラブ)

地域の高齢者の方が生きがいと健康づくりを目的に、趣味の活動、発表会などを通して同一地域に暮らす高齢者が互いに支え合い、社会貢献していけるよう活動を行っています。

北区では、「なごやかクラブ北連合会」として健康づくりやレクリエーション、学習活動を通して、心と身体の「健康」と「生きがい」づくりを行っています。



スポーツ推進委員

北区内の委員数 54人 (R2.4.1現在)

市長から委嘱され、学区での運動、スポーツの実技指導、各種スポーツ大会の企画運営など地域におけるスポーツの推進役として活動しています。また、ジュニアスポーツクラブにおける指導を通じた青少年の健全育成活動にも取り組んでいます。



消防団

北区内の団員数 約400人 (19学区1大学)

団長は市長より、団員は団長より任命され、火災現場での支援活動、地域での各種訓練など地域を様々な災害から守るために活動しています。

また、愛知学院大学では、平成29年4月から大学生消防団が結成されており、防災知識の普及啓発に活躍しています。



2 官公署等との連携



北区内の官公署の使命を達成するためには、区役所だけでなく、警察署や消防署などの官公署やライフラインにかかわる事業所などと連携しながらすすめていくことが不可欠です。

北区将来ビジョン策定にあたり、話し合い、協力連携している事業等について第2章で～関係機関の取り組み紹介～として掲載させていただいています。

3 北区社会福祉協議会の取り組み



●北区社会福祉協議会とは…

地域住民のみなさんや福祉・保健・医療関係者、ボランティア、行政機関等とともに、「誰もが健康で安心して暮らし続けられるまちづくり」をめざして活動する社会福祉法に規定された公共性と自立性をもった民間団体です。

●第4次地域福祉活動計画について

計画期間：令和元～5(2019～2023)年度の5か年

基本理念：「誰もが安心して住み続けられるまちづくり」

全体目標：「つ・な・が・り」をつくる

重点目標：第1ワーキンググループ(WG)

(取り組み方針) 地域福祉の基盤づくり(どこかで誰かが“あなたの声”に気づけるしくみづくり等)

第2ワーキンググループ(WG)

地域支援のしくみづくり(地域の理解者・協力者を増やすしくみづくり等)

第3ワーキンググループ(WG)

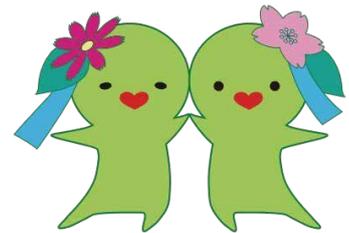
生活支援の活動やしくみづくり(生活の困りごとを一緒に解決するしくみづくり等)

●取り組みの紹介(一例です)

第1WG 巡回する相談チームづくり

第2WG いろいろな人が地域にいることを知る機会の提供

第3WG 片づけやごみ出しなど手助けが必要な方の支援



ふくちゃん きたちゃん

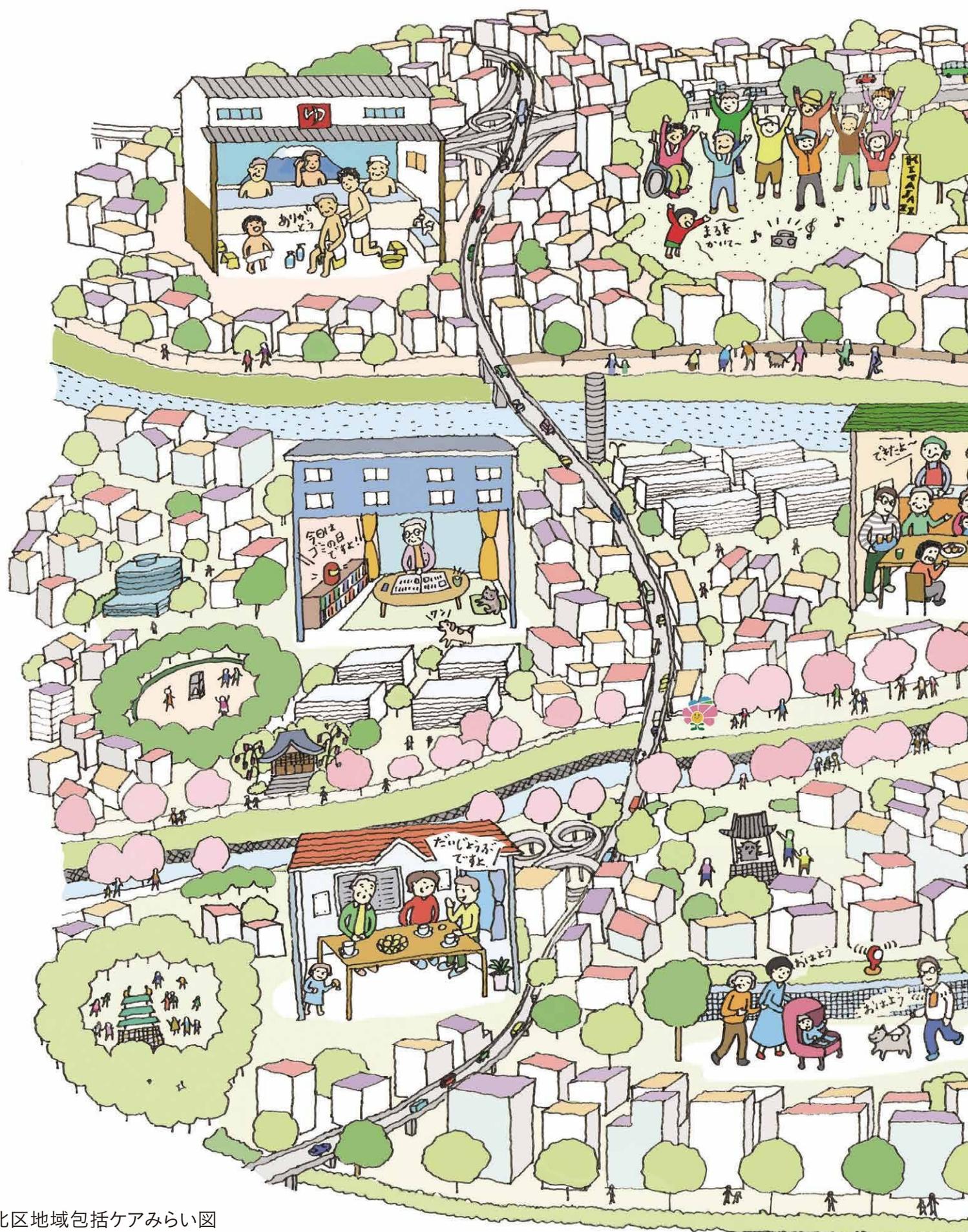
北区社会福祉協議会
マスコットキャラクター



第3WGの講座の様子

令和2～5(2020～2023)年度 コスモスビジョン(北区将来ビジョン)

発行・編集	名古屋市北区役所区政部企画経理室 名古屋市北区清水四丁目17番1号 電話：052-917-6428・6429 ファクシミリ：052-914-5752 ホームページ： http://www.city.nagoya.jp/kita/
発行年月	令和2年5月



北区地域包括ケアみらい図